

日本高齢者虐待防止学会会員、第8回日本高齢者虐待防止学会参加予定者の皆様

今次震災における第8回日本高齢者虐待防止学会の対応 第2報

第8回日本高齢者虐待防止学会会長 瀧澤利行(茨城大学教育学部教授)

このたび、東北地方太平洋沿岸大地震の発生にともない、東北地方・関東地方の多くの方々が被災されたことに対し、心よりお見舞い申し上げます。また、復旧・復興に際してはくれぐれもご注意の上、鋭意復旧・復興に努められますこととお祈りいたします。

さて、今次震災によって、開催地である茨城県も甚大な影響を受けましたが、徐々に復旧が進み、茨城県水戸市への動脈である常磐線の特急の運転も再開され、ご来水への手段も確保されつつあります。ただ、市内の宿泊施設の復旧はなお時間が必要で十分に部屋数が確保できる状態にはなお時日を要する状況です。

そのため、第8回日本高齢者虐待防止学会においては、当面次のような対応とさせていただきます。

1. 過日、学会ホームページにアップした大会内容について

- 1) 開催日時、会場等は当面変更しない。
- 2) 開催の内容については大幅な変更があり得る。
- 3) 復旧・復興、余震、福島原発の状況次第で開催規模を大幅に縮小することもあり得る。
- 4) 参加・演題申し込みについては、インターネットの使用を絶対になさらず、すべて郵送にてお願いしたい。
- 5) 参加・発表申込期日を、演題締め切りは5月31日(火)まで延期します。
- 6) 発表申し込みは、封書にて封筒表面に第8回日本高齢者虐待防止学会演題申し込みと朱筆し、発表者(共同発表者を含む全員、所属を明記)、演題名、内容の概略、代表者連絡先(郵便住所、電話番号、電子メールアドレス)のみをA4紙1枚に記入し、書留郵便(事故防止のためメール便は不可)にて郵送願いたい。受領者に対して、別途抄録記入要領および期日を連絡します。(短期間での提出をお願いすることになるため、あらかじめ完成稿をご用意願います。)

2. 今後について

- 1) 鋭意開催に向けて努力しておりますが、復興状況および今後の余震および福島原発の動向による県内事情の状況によっては、抄録集による誌上開催もあり得ることを承知願います。
- 2) 詳細については、随時学会ホームページで連絡いたします。

以上